

クエスチョンタイム

中学生や一般の聴講者のみなさんからの質問に、軍縮会議の出席者が分かりやすく回答しました。

日本から核兵器保有国へ核兵器削減の訴えは、どのように伝えられているの？

阿部信康さん(ウイーン国際機関日本国代表部大使/秋田県出身)：保有国に対し直接申し入れをしているほか、国連総会、ジュネーブ軍縮会議などで日本の主張として核の廃絶などを訴えています。また、日本の場合、広島や長崎に核廃絶を訴えるNGO(非政府組織)や研究所も多いので、民間レベルの活動も盛んです。それでもなかなか核軍縮が進まないのは、まだ努力が足りないのでしょうか。

核を保有する国はどれくらいあり、また保有する理由は？

ラルフ・A・カッサさん(アジア太平洋地

感想



野呂田皓子さんと娘の恵子さん(広面)

私は土崎空襲の頃、男鹿で教師をしていましたし、娘は東京でNGO活動に携わっているので、親子で興味深くお話を伺いました。国際会議が身近で開かれ、若い世代がそれに参加できたことは大きな収穫です。人を許す大きな心が世界平和への出発点。私たちももっとグローバルな視点を持ち続けたいと思いました。



大学生の石上陽一さん(仙台市)

秋田出身の後輩から誘われて参加。大学の講義の延長としても参考になりました。人道的援助についての白熱した討論、とても刺激的でした。人道的援助に限らず、明確な基準のない問題は徹底的に話し合ってほしいと思いました。

域安全保障協力委員会事務局長(アメリカ)：アメリカ、ロシアなど五か国と言われていますが、インド、パキスタンも保有を示していますし、イスラエル、北朝鮮も保有の疑いがあります。核を保有する理由は、ある種のエゴや誤った誇りにあります。核を保有することで強い国になった気持ちになるでしょう。

核拡散を防ぐためには、多くの支援が必要で、日本のリーダーシップも求められています。なぜなら、日本は世界で唯一の原爆被爆国であり、道徳的にも核兵器反対を主張できる立場にあるからです。

国連平和維持活動は

どんなことですか？

明石康さん(前国連事務次長/秋田県出身)：国連職員や国連の平和維持軍が、争っている国と国の間に入り、武器を持たず、あるいは小型の武器だけで、紛争の問題を話し合いで解決できるように余

裕と時間を作ってあげることです。日本は平和維持活動に対し金銭的な援助をするばかりでなく、紛争でかわいそうな目にあっている人々を助けるため、汗を流し、時には血を流す覚悟で貢献する努力をしなければいけません。

日本の常任理事国入りは？ 実現したらどんな面で貢献できるのでしょうか。

明石康さん：国連の常任理事国は五か国(米、露、中、仏、英)。強い発言力があるので、どの国もなりたがっています。日本の経済力はアメリカに次いで世界第二位、ODA(公的開発援助)は世界第一位と常任理事国になる資格は十分です。また、現在の常任理事国は全て核保有国なので、核保有国でない国がなってもいい。日本の場合、軍縮や開発の面で貢献することになります。そのためには、世界に貢献する意思表示をし、もっと国際的な知識や理解を深める必要があります。

軍縮会議に参加して



御野場中の木次谷千佳子さん(3年・右) 佐々木真奈美さん(2年)

核の廃絶など、軍縮をすすめるにはたくさんさんの時間がかかることを学びました。世界では民族紛争などがまだまだ多くて、その影響は一国だけにとどまらず何らかの形で世界中に及んでいるそうです。教科書に書いてある話ごとでも身近に感じられたし、国と世代を越えた意見交換が刺激的でした。軍縮会議に参加した貴重な体験を、生徒会などで発表したいと思います。

閉会宣言



石栗勉さん(国連アジア太平洋平和軍縮センター所長)

4日間の会議では、参加者のみなさんから示唆に富んだ、時には思考を強く刺激するような発言が聞かれました。こうした発言は、アジア太平洋地域の様々な問題を解決するアイデアを与えてくれました。

国連軍縮会議は、アジア太平洋地域における軍縮、安全、繁栄についての対話を促進する重要な手段として高く評価されるようになりました。国連通常兵器登録制度の創設や小型武器の研究に関するイニシアチブもこの軍縮会議の結果として生まれたものです。アジア太平洋地域の国々の信頼関係を深めるのにも大きく貢献しています。

秋田会議の成果は、このあとの軍縮に関するいろいろな討論の場でも十分活用されることとなるでしょう。